

第 29 回全国小学生作文コンクール

「わたしたちのまちのおまわりさん」

受賞名：優秀賞（高学年の部）

タイトル：わたしたちのまちのおまわりさん

氏名：宮城 由奈（ミヤギ ユナ）

小学校名：三重県 松阪市立第五小学校 五年

わたしは、この前家の近所で一万円札を拾いました。きれいに、折りたたまれていたの
で、ポケットから落ちたのかなと思いました。今ごろ、「落とした人は困っているだろうな。」
と思い、近くのお店の人に伝えました。お店の人は「交番へ届けて。」と言いました。

わたしの家の近くには、交番がありません。それで、一番近くのあたごの交番へ、母に
車でつれていってもらいました。

交番に着くと、交番にはおまわりさんはいませんでした。わたしは、初めて交番に行っ
たのですが、建物の中は、なにもなく、机の上に、電話だけがありました。「パトロール中
なので、何かあったら、電話してください。」と書いてありました。その時、わたしは何か
大変なことがあって、交番にかけ込んだ時、だれもいなくて大丈夫なのかなあと、ちょっ
と不安になりました。母は「町をパトロールしてみんなのくらしを守ってくれているんや
よ。」と、言いました。

10 分くらい待つと、おまわりさんが 2 人来ました。わたしは、初めてで、きんちょうし
ていましたが、そんなわたしに、おまわりさんは、やさしく接してくれました。

ひととおりじょうきょうを説明し、お金をあずかってもらいました。落とし物を届けた
時、一定期間落とし主が現れなければ一万円はもらえると、説明を受けましたが、わたし
は全ての権利を断りました。心の底から落とし主が見つかってほしいと思ったからです。

おまわりさんは、「おじょうちゃん、えらいな。きっといいことあるよ。」と、いって、
おかしをくれました。おまわりさんがくれたおかしは、いつもよりおいしく感じ、心があ
たたかくなりました。

初めての交番できんちょうしていたわたしに、やさしく接してくれたおまわりさん。「い
いことあるよ。」とおかしをくれたおまわりさん。おまわりさんは少し怖いイメージでは
したが、実際にはとてもやさしく、こんなおまわりさんたちがいてくれるから、わたしたちは、
安心安全にらせるんだと思いました。

一万円札のおとし主が現れてくれたらうれしいです。

わたしたちのくらしを守ってくれるおまわりさん、「ありがとう。」